

心の「モヤモヤ」を「スッキリ」解決!

看護職場のストレス
マネジメント相談室

第2回 担当外の仕事を振ると文句を言う先輩

今月の相談

28歳、看護師歴6年目、緩和ケア病棟に勤務しています。

私は部署内でチームリーダーを任されていますが、先輩看護師のチーム意識のなさにいつも困っています。たとえば、急な入院患者の対応や新人看護師のフォローは余裕のある先輩に依頼することが多いのですが、ある先輩から「私は1人で自分の仕事はクリアしているのに、なぜ人の仕事まで手伝わなきゃならないの?」と言われました。たしかに、仕事を終えるのが早いせいで仕事量が増えることに納得できないのはわかります。でも、最終的にはチーム全体で仕事を終えなければならないので、そこは先輩として受け入れないといけないのではないのでしょうか。

新人、若手の後輩たちに先輩と同じ仕事量を任せても到底時間内には終わらず、疲弊してしまいます。そのため、私としては個々の能力によって仕事量を調整して分担したいのですが、先輩は病棟業務に慣れているので仕事を終えるのも早く、担当患者以外のことには無関心です。私自身、世代的に先輩と後輩のちょうど中間に当たり、先輩に表立って注意しにくく、同時に後輩の視線も気になるため、間にはさまれてどうしたらよいかわからなくなることがあります。

このような先輩看護師に対して、私のようなチームリーダーはどのように対応すればよいのでしょうか?



Answer

先輩に期待するのはやめましょう。
そして、後輩を育てることに集中しましょう。

チームで業務を行う看護師の場合、この相談のような「年上のチームスタッフ」「年下のチームリーダー」とのかかわり方は難しく、一歩間違えれば事態が複雑化してしまうことがよくあるようです。特に、年上の後輩、スタッフへの接し方は、看護に限らずビジネス場面でもよく耳にする悩みです。先輩

に指示することはただでさえ負担に感じるのに、そのうえ相手にこのような言動をされると、困ってしまいますよね。

このような場合の対応として、2つのパターンをお話ししましょう。

Profile

ベスリククリニック 臨床心理士 関本文博

専門は認知行動療法など。チーム医療の中心として、医療現場での臨床心理士の働きを一新している。

保健師・看護師・助産師 長田梨那

生活習慣とメンタルヘルスの密接なつながりに着目。睡眠を中心とした指導を実践し、医療に頼らない心と身体の健康プログラムを提案。

Consultation & Answer

先輩に業務を振り続けたら……

この場合、どこかで先輩が根負けし、嫌々ながらも振られた業務をこなしてくれるかもしれません。しかし、先輩の内には不満が蓄積していきます。例えば休憩時間の談話中など、思いがけないきっかけで不満があらぬ方向に爆発してしまい、その場にいる全員が後味の悪い思いをすることになるかもしれません。それだけではなくあなたの内にも「なぜ先輩なのに自分から進んで業務に取り組んでくれないのか」というつぶやきがたまっていきかねません。そうすると、仕事を円滑に回すために余裕のある人に業務を振ったはずが、先輩もあなたも余裕がなくなってしまい、職場そのものが大変ストレスフルな環境になってしまうのです。

また、次から次へと業務を振られてしまうことに嫌気が差した先輩が、わざとダラダラ業務をしたり、業務の一部を飛ばしたりするようになるかもしれません。実はこれが、リーダーとして一番恐れるべき状況です。そうなればあなたは叱責を受けるかもしれませんし、責任を問われてリーダー職から外されてしまうかもしれません。そうでなくても、先輩の後始末に追われたり、業務の手抜きを隠ぺいされていないか目を光らせたりと、身体的にも精神的にも疲労してしまうでしょう。そしてあなたは仕事を増やす先輩をもっと嫌いになってしまうはずです。

後輩に業務を振ったら……

では、後輩看護師に業務を振ると何が起こるでしょう? 最初はあなたがつきつきりで一緒に業務を

こなさなければならないかもしれませんし、やり終わらなければあなたが処理しなければいけないかもしれません。ときにはミスをするかもしれない、その後始末に奔走しなければならないこともあるでしょう。しかし、後輩からすれば、ただ事務的に業務を振り分けるリーダーよりも、自分が失敗したときに手を差し伸べてくれるリーダーにより好感を持ちます。難しい業務を振らない優しさよりも、業務は振るがフォローもしてくれる優しさのほうが、相手にははるかに伝わりやすいのです。

最初は業務をこなせなかった後輩も、経験を積めば次第にできるようになります。難しい業務でも機会を増やせばできるようになり、成長していくでしょう。成長の余地の少ない先輩を何とか機能させようと苦悩するよりも、成長する余地のある後輩を手取り足取り教えるほうが、よほど精神的なストレスは軽いはずです。むしろ、あなたが教育や指導に注力している間に生じた雑務を淡々とこなしてもらうために、経験豊富な先輩がいると思えるかもしれません。

重要なのは先々まで見越した対応

リーダーや管理職に必要なのは、先々のことまで見越して対応する力です。もちろん、そこを考えた結果、一時的に業務が増えてしまう可能性は否定できません。しかし、先輩に指示を出し続ける負担をただひたすら続けていても、事態は好転しません。リーダーとして先を読んで動き、そのための労力は惜しみなく割くというのが、一人前のリーダーなのではないでしょうか。